



2020年2月10日

各位

上場会社名	東邦亜鉛株式会社	
代表者	代表取締役社長	丸崎 公康
(コード番号	5707)	
問合せ先責任者	経理部長	田邊 正樹
(TEL	03-6212-1716)	

## 減損損失の計上に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、下記のとおり減損損失を特別損失として2020年3月期第3四半期に計上することを決議いたしました。

### 記

#### I. 減損損失の内容

当社の連結子会社である豪州鉱山会社 CBH Resources Ltd. (以下「CBH社」という)において、運営するラスプ鉱山の今後の操業状況を見直した結果、固定資産の回収可能価額(時価)が帳簿価額を下回る結果となり、2020年3月期第3四半期(CBH社は12月決算のため、同社における2019年1月から2019年9月の期間に相当)において1,908百万円を減損損失として特別損失に計上しました。

市況前提を当初見込みより保守的に見直したことや、足許の買鉱条件が(鉱山にとって)悪化しているといった外的要因に加え、採掘計画の下方見直しもあり、将来見積キャッシュ・フローが大幅に減少してラスプ鉱山の固定資産の回収可能価額が毀損し、減損損失の計上を余儀なくされました。

#### II. 連結業績に与える影響

上述の通り、同四半期において1,908百万円の減損損失を特別損失として計上しましたが、他方でこれは将来の減価償却費負担の軽減効果を有します(およそ2億円/年)。

今後は高品位鉱体の更なる開発にも力を入れるとともに、生産計画の見直しを行い、同鉱山の収益力の向上に注力します。

以上